

大田区こどものインフルエンザ予防接種費用助成事業【予防接種説明書】

この予防接種説明書（両面）をよくお読みいただき、医師と相談の上、接種してください。

インフルエンザウイルスによる感染を予防するとともに、心身の健康を増進し経済的な負担を軽減するため、インフルエンザ予防接種の接種費用を一部助成します。

【対象者】

接種日現在、大田区に住民登録がある、生後6か月以上18歳（高校3年生相当）以下の方

【助成額・助成回数】

生ワクチン：4,000円/回 不活化ワクチン：2,000円/回（12歳以下：2回まで 13歳以上：1回）

※ 医療機関の定める接種費用から、助成額を引いた金額を窓口でお支払いください。

※ 生ワクチン（フルミスト）の場合は、ご年齢に関わらず助成は1回までです。

※ 予防接種後に費用を請求できる償還払い制度はありません。

※ 令和7年10月1日より前に接種した場合、その費用は全額自己負担となります。

【接種場所】

大田区内の協力医療機関（予診票は備え付けなので、区から発送しません）

※ 上記以外の医療機関で接種する場合は、助成を受けられません。

※ 予約が必要な場合がありますので、事前に接種する医療機関へご確認ください。

【助成手順】

- ①母子健康手帳及び大田区民であることがわかる物（乳幼児医療証等）を、大田区内の協力医療機関に持参し、備え付けてある予診票を使用して接種を受けてください。
- ②各医療機関の定める接種費用から助成額を引いた金額を、医療機関の窓口でお支払いください。

令和7年度より経鼻弱毒生インフルエンザワクチン「フルミスト®（第一三共）」は助成対象です

接種可能年齢は2歳から19歳未満の方、両方の鼻に噴きかけるタイプの1回で完了します。

※ 2歳未満の方や妊娠していることが明らかな方は、接種できません。

※ 明らかに免疫機能に異常のある疾患をお持ちの方や免疫抑制剤等の免疫抑制をきたす治療を受けているまたは副腎皮質ホルモン剤を使用している方は、接種できません。

※ 本剤は安定剤としてゼラチン加水分解物を含むため、ゼラチンに対して過敏症の既往がある方や重い喘息のあるまたは喘鳴の症状のある方は、事前に医師に相談してください。

※ 接種後2か月間は妊娠しないように注意してください。

※ 接種後1～2週間は乳児や重度の免疫不全者との密接な接触は、可能な限り避けてください。

※ 医療機関により取り扱いがない場合があります。事前に接種する医療機関へご確認ください。

1 予防接種の効果について

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによる呼吸器感染症です。

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、咳等の症状も見られます。自然に回復する疾患ですが、お子さまではまれに、急性脳症など重症化する場合があります。

予防接種をすることで、本人の感染予防だけでなく、集団感染予防にも繋がります。

【裏面もご確認ください】

2 副反応について

主な副反応は、接種部位の発赤・腫脹（はれ）等の局所反応です。接種部位以外の副反応として発熱や頭痛、倦怠感等が見られます。また、経鼻弱毒生インフルエンザワクチンでは、鼻閉（鼻づまり）・鼻漏（鼻水がのどに流れる）や頭痛、喉の痛み等が見られますが、いずれも一過性で数日以内に軽快します。

稀に生じる重い副反応としては、アナフィラキシー様症状（ショック症状・じんましん・呼吸困難等）が起こる可能性があります。

3 予防接種の注意事項

〈予防接種を受けられない方〉

- ① 明らかに発熱している方（37.5℃以上）
- ② 重篤な急性疾患にかかっている方
- ③ 予防接種やそれに含まれる成分でアナフィラキシーを起こしたことがある方
- ④ 明らかに免疫機能に異常のある疾患をお持ちの方や免疫抑制をきたす治療を受けている方
- ⑤ 経口または注射の副腎皮質ホルモン剤を使用している方
- ⑥ 妊娠していることが明らかな方
- ⑦ その他、医師が予防接種を受けるのに不適切な状態と判断した方

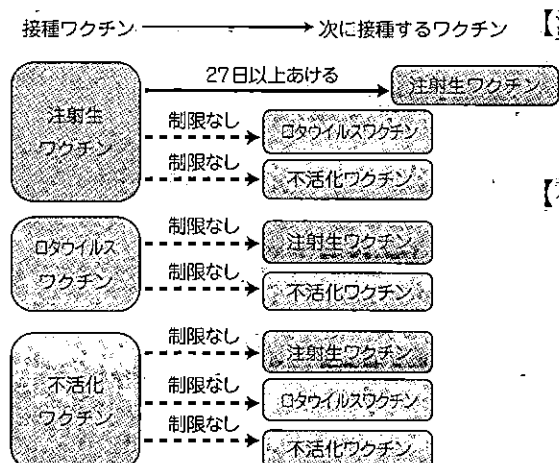
〈予防接種前に医師と相談しなければならない方〉

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などの基礎疾患のある方
- ② 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギーを疑う症状のみられた方
- ③ 過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある方
- ④ 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方、もしくは近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
- ⑤ このワクチンの成分又は鶏卵、鶏肉、その他由来のものに対してアレルギーをおこすおそれのある方
- ⑥ ゼラチン含有製剤またはゼラチン含有の食品に対して過敏症の既往のある方
- ⑦ 重い喘息のある方または喘鳴の症状や間質性肺炎等の呼吸器系疾患のある方
- ⑧ 妊娠中または妊娠の可能性のある方（接種前1か月間避妊していない方）、授乳中の方
- ⑨ 発育が遅く、医師、保健師の指導を受けている方
- ⑩ サリチル酸系医薬品（アスピリンなど）、ジクロフェナクナトリウム、メフェナム酸を服用している方

〈接種後の注意事項〉

- ① 接種後30分間はショックやアナフィラキシーが起こることがまれにありますので、医師とすぐに連絡がとれるようにしてください。
- ② 接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ③ 接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、接種部位はこすらないで下さい。また、激しい運動は避けてください。
- ④ 妊娠が可能な方は、接種後2か月間は妊娠をしないように注意してください。
- ⑤ 接種後1～2週間は乳児や重度の免疫不全の方との接種は、可能な限り控えてください。

〈他のワクチンとの接種間隔〉



【注射生ワクチン】：おたふく、麻しん・風しん、MR、水痘、BCG
※ 病原体となるウイルスや細菌の毒性を弱めてつくったワクチン

※ インフルエンザ（経鼻接種）は該当しません

【不活化ワクチン】：肺炎球菌、B型肝炎、DPT-IPV-Hib（五種混合）、日本脳炎、DT（二種混合）、HPV
インフルエンザ（皮下接種）

どちらのインフルエンザワクチンを選択された場合においても
医師が認めた場合には、他のワクチンと同時接種が可能です。

4 予防接種による健康被害救済制度について

予防接種は感染症を防ぐために重要ですが、まれに副反応による健康被害の発生がみられます。

本事業の予防接種によって引き起こされた副反応が原因で、生活に支障を残すような健康被害が生じた場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済の対象となる場合があります。